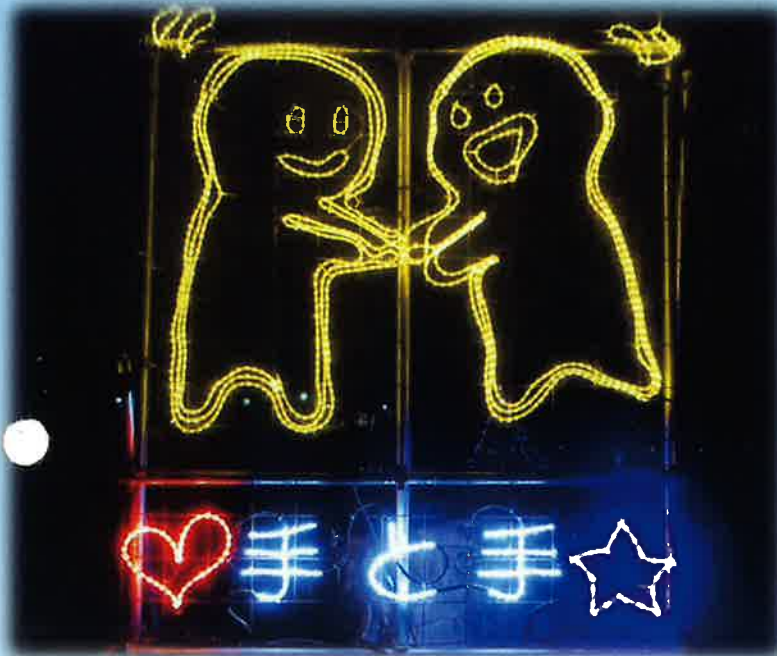


第11回こほくイルミの広場

2023.12月23日(土)~2024.1月8日(土)

点灯17時~21時 / 湖北支所西公園(国道8号線沿)



第11回 こほくイルミの広場

12/23^土~1/8^{月祝}

☎0749-78-1287

地域住民手作りのイルミネーションが湖北の町を彩ります。今年も多くのイルミネーションを点灯予定。冬の夜空を彩る暖かい光を家族や友達と楽しんでください。



🕒17:00~21:00

📍湖北支所西公園(国道8号線沿)

🏢こほくイルミの広場実行委員会
(湖北まちづくりセンター内)

【雑誌 ぼてじゃこ12月号掲載】



こほくイルミの広場

こほくまちづくりセンター

『謹賀新年 あけましておめでとうございます』

今年で11回目を迎えました「こほくイルミの広場」は、昨年末12月23日(土)~新年1月8日(月・祝)の期間中に点灯をしています。

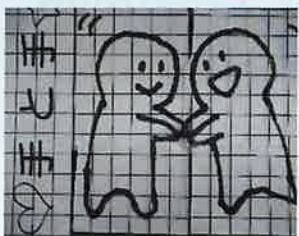
テーマは『手と手』です。従来の人との交流がもどりつつあり、あらたな共生、協調、信頼、安心の回復を願って『手と手』をテーマにしました。

ご家族、お友達お誘い合わせのうえ、年末年始を彩る光の空間を多くの方々に共有いただくと有り難く存じます。

今年もよろしくお願ひ申しあげます。2024(令和6年)1月 元旦



今年度テーマ「手と手」作成の流れ



生活安全部会：防災先進地研修(福井市防災センター)

昨年11月5日(日)に生活安全部会 防災先進地研修を実施し、福井市防災センターを訪問、視察、見学をしてきました。

まずは、玄関ホールにて「見て 触れて 体験して」の研修、体験、展示の概略説明を受けて、研修室に移動し大型画面を活用した学習を受けました。

1948(昭和23)年6月、福井市は、市全体が壊滅状態となるマグニチュード7.1(震度6)の直下型大地震が起こり、さらに同7月には豪雨水害が追い打ちをかけました。また1945(昭和20)年の空襲では、市街地全域が焼失し戦災復興途上のなか重なる甚大な被害をこうむってきました。



【玄関ホールにて概略説明】

研修内容の報告



【写真①】



【写真②】



【写真③】

【写真①】福井地震の翌年に、政府は最高震度の基準を震度6から震度7に引き上げ、その後、阪神淡路や東北の震災にも適用されて現在に至っている

【写真②】屋外における地震を想定した場合、ブロック塀や瓦屋根の近く、さらに液状化現象には留意しておくことが必要

【写真③】ブロック塀近くで震度4～5の模擬屋外地震体験



【写真④】

【写真④】地震における「3ない」とは、上から物が落ちてこない・横から物が倒れてこない・物が移動してこないの「3ない」を普段から意識して備えておくことが大事
「3ない」の前に 室内の地震は まず机の下に入って身を守ることが基本

【写真⑤】家屋が倒壊すると人命救助と火災発生リスクの高まりに留意しておくことも重要 (火災発生を想定した模擬消化体験)



【写真⑤】



【写真⑥ 火災:展示コーナー】



【写真⑦】

【写真⑧】

【写真⑦⑧ 研修後の質問】

滋賀は災害の少ない県と聞きますが、明治42(1909)年の姉川虎姫地震はマグニチュード6.8の大震災でした。また、昭和38年(ツバノ)、54年(トノ)、56年(トノ)の各豪雪は全国に報道される大きな雪害を受けました。最近では、極地豪雨による高時川の増水は年々危惧される事象です。

このようなことから、こほく地域づくり協議会では生活の安心、安全の備えに向けた防災の意識化に寄与する取り組みを今後とも継続していきたいと考えています。

今年も(今後とも)、引き続き よろしくお願い申し上げます。(2024.1.1. こほく地域づくり協議会)